

## U・Iターンの先輩へのインタビュー

先輩移住者に移住したきっかけや移住後の暮らしについて伺いました。また、長崎県移住支援公式ウェブサイト「ながさき移住ナビ」では、先輩移住者の働き方やライフスタイルを紹介しています。先輩移住者のさまざまな暮らしを見て、長崎県へのU・Iターンを考えてみませんか。



### 理想の子育て環境を求めてUターン

**清川 莉歩さん**  
五島市在住1年

福岡市で看護師として働いていた清川さんは、子どもに合った子育て環境を求めて、五島市へUターンされました。



現在は、社会福祉協議会で看護師として勤務しており、職場では、子どもの学校行事や体調に合わせて柔軟に勤務時間を調整することができ、子育てを優先できる環境が整っているとのことでした。

休日は、海が大好きな子どもと一緒に海水浴場で遊ぶなど、自然豊かな環境の中で、充実した時間を過ごしていることに喜びを感じているそうです。

「五島は自然が豊かで、子育てしやすい環境が整っており、地域の方々も温かく移住者を受け入れてくれます。子育てに悩んでいる方や、自然の中でゆっくり過ごしたい方にはおすすめです」と語ってくれました。

### オンライン試験がきっかけでIターン

**永井 勇輝さん**  
大村市在住1年4カ月

岐阜県出身で、神奈川県の小学校で教員として勤務していた永井さん。



他県勤務者対象の教員採用オンライン試験を受験し、妻の地元である大村市へIターンされました。

「里帰りなどで毎年大村市に来ていたのですが、実際に住んでみてこれまでは気付かなかった良さにも触れることができ、人の温かさや生活のしやすさを感じています。また、妻の両親の支援もあり家庭と仕事の両立ができ、豊かな自然の中で子育てできることをうれしく感じています」と永井さん。

今後は、家族で登山やキャンプを楽しみ、カヌーにも挑戦してみたいそうです。「いろいろな経験を通して、長崎の魅力を子どもたちに伝えて、長崎を愛する心を育むことができれば」と笑顔で語ってくれました。

### 漁業体験を経てIターン

**松村 信宏さん**  
平戸市在住2年8カ月

香川県出身で、会社員として働いていた松村さん。



自然豊かな環境で伸び伸びと子育てがしたいと考えようになり、県が主催する移住相談会へ参加。もともと海や魚が好きで漁業に興味があったことから、平戸市館浦漁協で定置網漁業を1週間体験し、漁師になることを決心されました。

妻と2人の子どもと一緒に平戸市へ移住し、館浦漁協の自営定置網漁業に就業中です。

「田舎への移住をイメージして来ましたが、さほど生活に不便を感じることはありません。また、漁業については、夏は暑く冬は寒いので、作業が辛いと感じることもありますが、自分の頑張りがあるまま成果につながることに実感できる職業です」と熱く語ってくれました。

### 魅力発信の一助になればとIターン

**羽鳥 英直さん**  
長崎市在住4カ月

東京都出身で、百貨店や陸上競技場などでイベントの企画や運営の仕事をしていた羽鳥さん。



百貨店時代に長崎の人たちと仕事をする機会があり、人の実直さ、多種多様なものを受け入れ融合させる文化に魅力を感じていたそうです。100年に一度の変革期といわれるタイミングで、長崎の魅力を発信する一助になればと、長崎市内の商業施設の運営会社に転職。

「妻が東京で仕事をしているため、単身赴任状態ですが、妻の仕事を長崎でも継続できるように調整して、半年後には夫婦で長崎に住みたいと考えています」と羽鳥さん。

移住して良かったことを尋ねると「食べ物おいしい。時間に余裕ができる。これに尽きます。東京では感じられないことがたくさんあり、これから長崎だからこそ体感できることを精一杯楽しみたいです」と語ってくれました。

# 特集 自分らしい生活を求めて ～Uターン・Iターンの実現へ～



U・Iターン者と  
一緒に地域を元気に

県では、地域の活性化につなげるため、U・Iターン者を呼び込む移住促進の取り組みを進めています。

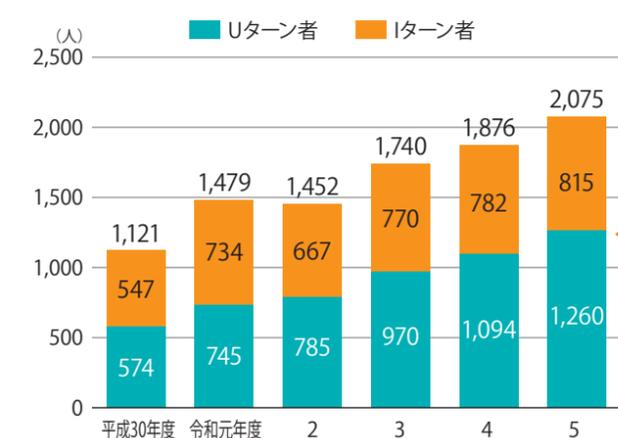
近年、転職や子育てを機に、ふるさとへUターンする働き盛り世代が増えているほか、働く場所を限定しないリモートワークなどの多様な働き方が急速に普及したこともU・Iターンを後押しする要因となり、本県への移住者は増加傾向で推移しています。

U・Iターン者の増加は、地域の産業の担い手確保やコミュニティの維持・活性化、新たな魅力の発掘など、地域が活気を取り戻すためのきっかけになっています。

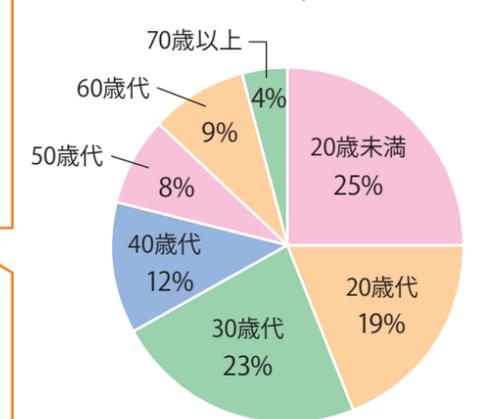
活力ある長崎県づくりのため、この特集の情報を県外にお住まいの家族・ご友人へぜひお知らせください。ご協力よろしくお願いします。



移住者(U・Iターン者)数の推移



令和5年度移住者(2,075名)の年齢層



## U・Iターンやその後のチャレンジを支援

### 長崎県での就業をサポート

ウェブサイトでの情報発信や相談受付のほか、本県への転職をお考えの方を対象とした転職個別相談会の開催により、就業をサポートしています。

#### 長崎県就業情報

業種ごとの就業情報、就業相談会や技術習得支援研修の実施など、本県での就業に役立つ情報を発信しています。



#### 長崎県への転職個別相談会

本県への転職個別相談会を東京都、大阪府、愛知県、福岡県周辺で開催しています。具体的な日時や場所はウェブサイトにて随時掲載しています。



### 移住・創業・事業拡大への支援

都市部からの移住を促進するとともに、地域課題の解決につながる創業に取り組む方を支援しています。また、市町によってはこのほかにもさまざまな支援が用意されています。

支援名	対象	内容
移住支援金	東京23区内に直近10年間のうち通算5年以上在住または通勤していた方など	1世帯当たり100万円を給付(単身の場合は60万円)、18歳未満の方と一緒に移住する場合は、1人につき最大100万円加算(市町によって取り扱いが異なる場合があります)
創業支援	創業予定者(付加価値の高い産業分野での事業承継を含む)	創業に要する経費を最大200万円補助(補助率1/2)
有人国境離島法による創業・事業拡大支援	対馬、壱岐島、五島列島において新たな雇用を生む創業または事業拡大を行う方	設備投資資金や人件費などの運転資金を最長5年間補助(補助率3/4) 限度額は創業450万円、事業拡大1,200万円



県の支援金と補助金の詳細が確認できる



各市町の支援も確認してみましょう



本県では、西九州新幹線開業に伴う県内各地の活性化、今年10月の長崎スタジアムシティ開業など、「まち」の佇まいが大きく変わるプロジェクトが進展しています。また、本県は変化に富んだ豊かな自然、海外の文化を受け入れながら多くの人々と交流し栄えてきた歴史と個性豊かな文化など、多くのポテンシャルを有しています。

そうしたまちづくりの進展や本県の魅力を県内外の皆さまに発信し、多くの方々を選んでいただき、本県への定住やU・Iターンの実現を支援していきたいと考えております。

長崎県知事  
大石賢吾



## U・Iターンのご相談は「ながさき移住サポートセンター」へ

県と県内21市町が共同で運営し、就職・転職や住まい探しなどU・Iターンに関するさまざまなサポートを行っています。U・Iターンを検討している方はもちろん、ご家族やお知り合いの方もお気軽にご相談ください。

### 相談窓口

#### 長崎本部

長崎市尾上町3-1 県庁4階  
☎095-894-3581(直通)  
受付時間 9時~17時(月~金曜)  
※祝日、12/29~1/3除く



ウェブでの相談はこちらから

#### 東京窓口

東京都千代田区有楽町2-10-1  
東京交通会館8階  
(ふるさと回帰支援センター内)  
☎080-7735-3852(直通)  
受付時間 10時~18時(月曜休館)  
※祝日、8/10~16、12/29~1/6除く



Q: 移住する際にどのような支援が受けられるの?

引っ越し料金やレンタカー料金の割引などの特典を受けられることができる会員サービスのほか、移住支援金や各種補助金で皆さんの移住を支援しています。

Q: 移住先の住まい探しではどのようなサポートがあるの?

中立的な立場で不動産の情報をご紹介します。また、市町の担当者と連携して、賃貸だけでなく空き家活用など幅広い可能性をご提案させていただきます。

Q: 長崎で仕事を探したい。どのようなサポートがあるの?

ご経験やご希望に応じて求人やお仕事案件をご紹介します。優秀な人材を採用したい企業と経験やスキルを生かして活躍したい人材を結びつけるサポートを行っています。

### ながさき移住倶楽部



会員登録すると、ながさき暮らし相談会などの移住関連のイベントに参加できたり、さまざまな特典を受けることができます。登録はながさき移住ナビ公式LINEからできるほか、スマホでの会員証表示やコンテンツの利用が便利です。※県外在住の方のみ登録可能

#### 主な特典

- 宿泊施設での割引・各種サービス
- レンタカー料金の割引 10~20%オフ
- 引越料金の割引 20~30%オフ
- 電気料金 1年間5%オフ



### 総合ポータルサイト

長崎県移住支援公式HP

## ながさき移住ナビ

おかえり長崎

ようこそ長崎

本県へのU・Iターンに関心がある方を応援するウェブサイトです。仕事や住まい、暮らしに関することなどU・Iターンに役立つ情報を発信しています。



SNSでも情報を発信していますよ

